

# ワークショップの記録シート

皆さんのグループは・・・「H」

## ■セッション1

### 1. 自己紹介しましょう！

お名前	ご所属	お名前	ご所属
平間 先生		鈴木エン	
竹田 洋先生			
藤倉 先生			
菅本エン			

### 2. どんな授業をイメージしますか？キーワードを出し合ってみましょう 算数の授業(5分)

貼り付けスペース  
 教師：何でも扱う事ができる。  
 子ども：おもしろい、熱中、わかりやすい。

### 3. 話し合って模擬授業の目標をつくりましょう ITは、道具ではない。

- ・ IT活用のねらい (子どもにこんな力をつけたい授業をこう変えたい！)

・ 子どもの思考を形に残す。 ・ 見せつけずなしにしない。  
 ・ 無馬太な事は言わない。 ・ 言わせてから読ませる。→1分間ご

- ・ 学年・教科・単元は？

小学校・算数・ひき算(減法・減法)

- ・ 教師役になるのは・・・

全員(補助なし)  
 授業していない人が生徒役

・ プロジェクタ、スクリーン、PC、模造紙、マジック。

## ■セッション2 模擬授業をつくろう!

・5分間の「台本」をつくりましょう!

時間	教師	児童生徒	IT・その他
1分	鈴木 (円の面積)	その他	キューブキッズ・PC プロジェクタ
1分	河内 (くり下がりのあるひき算)		プロジェクタ・PC
1分	瀧本 (帯グラフの見方)		) 実物投影機・PC 教科書
1分	藤倉 (円グラフの見方)		
1分	平間 (面積)		プロジェクタ・PC

・必要なものがあればメモしておきましょう

例) ハリセン (準備する人: 石井)

実物投影機, 教科書, PC, プロジェクタ, 小学校向け教育用総合ソフト  
キューブキッズ(スズキ教育ソフト)

## ■セッション3 発表会&模擬授業を振り返ろう!

自分たちのグループについてどんなコメントがありましたか?

(ほめられたところ)

- ・変化のあるくり返し, 子どもの理解をうながす授業(全体)
- ・公式の丸暗記ではなく, 図で確かめてから公式を導き出していた(円の面積)
- ・答えを子ども全員に復習させている(くり下がりのあるひき算) (事前の準備が簡単そう(帯グラフ・円グラフの見方))
- (アドバイスを受けたところ)
- ・子どもに考えさせる場が必要
- ・PCの画面に直接書き込むなど, もう少し動きがあればよかった。

2日間のワークショップでどんなことを学びましたか? 寄せ書きしてまとめましょう!

IT活用が変化してきていることを改めて実感した。(身近に手軽に)

普段使わない脳の部分をくり返しに使うと使えます。今度は是非英語で勝負を。光村四喜、瀧本

IT活用を支える授業運営力の大切さを改めて感じました。(藤倉)

メーカーの方とITについて話し合いながら, 授業を作ることができた。(河内)

算数でも, 様々なIT活用がある事を知りました。(河内)